



## ご縁に感謝

始めまして細越弘明と申します。

いきなりですが、私の前職は印刷会社の営業マンで39年間勤務させていただきました。その39年間は営業マンとして楽しい時もそうでない時も色々となりましたが、先輩や後輩の方々の支えもあり無事に勤め上げることが出来たことは今では良い思い出で感謝の気持ちで一杯です。

そんな業務の中で19年前から開智さんから広告チラシ等のご注文をいただくようになり、パスカルキッズや算盤のテキストの発行もお手伝いさせていただきました。

又、月刊誌グローイングの作成も関わり、その記事を読む度に生徒達に対する先生方の熱い思いを感じていましたので私が今この記事を作成し

ていることが不思議で気恥ずかしい気持ちです。開智の先生方はどなたも優しく私にとって大切なお得意様の中のひとつでした。

そしてこの度ご縁をいただいてパスカルキッズFCの顧客管理やテキストの在庫管理の業務を担当させていただくことになりました。

第2の人生をまさか開智で歩む事になるうとは夢にも思っていませんでしたので、最初はビックリでしたがこのご縁に感謝して開智でお世話になることを決めました。

ちなみに私の趣味はウォーキング、写真です。休日は足腰が弱らないように1日12,000歩を目標に大阪城公園や鶴見緑地公園を歩いています。たまには遠出して風景や季節の花などを撮影しては一人悦に入っていて自分に合った良い趣味に巡り合えたことをうれしく思う今日この頃です。

細越 弘明(パスカルキッズFC担当)



▲千光寺から望む瀬戸内海

最後になりましたが、これからは開智の一員として先輩方のご指導を仰ぎながら少しでも早く戦力になれるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願いたします。



## 科目としてだけでなく、英語の楽しさを生徒達に伝え、社会での成功に役立つ指導をしていきたい。

峯上 颯太(トーキングキッズ)

初めまして、4月から入社いたしました峯上(みねがみ)颯太と申します。生まれも育ちも大阪府唯一の村である千早赤阪村出身です。大阪とは思えないくらい田舎で、近くにコンビニもなく、電車も通っていないため最寄りの駅まで歩くと1時間以上かかります。しかし夏場は窓にカブトムシがとまったり、冬場の星空はとても綺麗な場所です。学生時代はずっと野球をしてきました。中学三年生の時に担任の先生から「その高校は学力的に厳しいよ」と言われましたが、それでもその高校で軟式野球がしたくて受験し、ギリギリ合格しました。あきらめずに勉強した成果が実り、二年生の時には大阪府で優勝し全国大会に出場

することができました。甲子園とは言えませんが、自校の吹奏楽部とダンス部が応援歌を演奏してくれたことは今でも良い思い出です。試合自体は私のミスで負けてしまい、その悔しさは今でも心に残っています。お仕事の話に移りますが、中学・高校の教員免許の他に、実は保育士資格も持っています。前職では2年間、インターナショナルスクールで2歳児の担任をしていました。私が担当していたクラスはネイティブの先生2人と日本人の先生2人で担任し、英語の活動や制作活動を英語でサポートしていました。男性保育士はまだ珍しい立場でしたが、やりがいのある仕事でした。塾の仕事に転職した理由は、大学時代に中学校や高校の英語教育を専攻し、アルバイトでも英語を教えた経験がありました。英語は他の科目と異なり、

苦手意識を持つ生徒が多くいますが、その克服や受験での成功を共有できることに喜びを感じます。前職では英語が母国語でない先生でもコミュニケーションが取れました。現在の世界では英語がますます重要であり、英語を話すことで多くの国の人々とコミュニケーションを取り、有益な情報を得ることが出来ます。私自身、英語を話すときと日本語を話すときで性格が異なるように感じます。具体的にいうと英語を話す時はよりポジティブになるような気がします。科目としてだけでなく、英語の楽しさを生徒達に伝え、社会での成功に役立つ指導をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

- 5月中旬より各中学で中間テストが実施されます。それに伴い塾内では定期テスト対策を実施いたします。お子様の学習の様子に不安があります時は各教室にご遠慮なくご相談ください。
- 5月28日(火)は中学学習部休講日です。
- 5月29日(水)・30日(木)は小学診断テストです。
- 6月1日(土)は全クラス休講日です。

カイチからの  
お知らせ

生徒と保護者と先生の共有ニュースレター



【本部】  
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201  
TEL.06-6939-0008

【今福教室】  
城東区今福西 2-9-20  
TEL.06-6934-4662  
【諸口教室】  
鶴見区諸口 4-14-9-1F  
TEL.06-6912-3984  
【今津教室】  
鶴見区今津南 1-6-2-1F  
TEL.06-6167-9722  
城東区成育 5-22-10-2F  
TEL.06-6786-1008  
【エニグマ】  
中央区谷町 9-4-5-3F  
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】  
城東区今福西 2-16-8  
TEL.06-6931-2000  
【関目教室】  
城東区関目 4-6-17-2F・3F  
TEL.06-6934-8117  
【古市教室】  
城東区古市 3-21-8  
TEL.06-6931-0467  
【カイチ予備校】  
城東区今福西 1-10-17  
TEL.06-6935-2220  
【万緑会】  
天王寺区上本町 6-9-10-3F  
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

## もうすぐ中間テスト! 伸びる秘訣は「学習法」

新学年の学校生活もスタートして1カ月が経ち、少しずつ新しいクラスにも慣れてきたのではないのでしょうか。今月末は、ついに中学1年生のみんなにとっては初めての中間テストがあります。クラブも本格的に始まり、その上中間テスト。「中学生、大変やわー」と感じている人もいるかもしれません。でも、小学生の時はバツとしくなくても、中学からグングン頭角を現してくる生徒達はたくさんいます。

その秘訣は、「学習法」にあります。

テストは皆さんも小学校の頃から受けてきたと思います。でも小学校のテストは、こまめに行ってくれるためまだ記憶に新しく、少し復習するだけである程度の点数が取れたと思います。しかし、中学のテストはとにかく範囲が広く、少し復習しただけでは覚えきれず、じっくり時間をかけて学習をし直す必要があります。ここで大きな差がつくのが、正しい学習法で勉強しているかどうかです。

今回のGROWINGでは、新中1生に向けて定期テストの学習法について説明したいと思います。しかしながら、中2、中3生でもまだ学習法が甘い人はたくさんいるはず。これを機に再確認していただければと思います。

数学

テスト範囲の学校のワークを間違い直しまで、きちんとやってください。ここで大切なことは「質問」です。先生の経験で絶対的に言えることは、質問する子は必ず伸びます。必ず理解できるまで諦めずに質問すること。そして、質問した問題は必ず一人で解けるように練習することがポイントです。次に塾で演習する学校の過去問題の点数を付け、何点取れるか確認してください。ここでも間違い直しと、質問を徹底すること。数学は、学校のワークと過去問題の演習と間違い直し、そして質問の徹底で必ず伸びます。

英語

まず塾の単語テストで、テスト範囲の単語を覚えます。どうしても単語が覚えられない人は先生に相談すること。次に塾の定期テスト対策で実施する「本文テスト」。本文テストとはUNIT毎にその内容がきちんと理解できているかを確認するテストです。ここで注意ですが、演習前に該当UNITの塾ノートをしっかりと読みこんでください。各UNITの文法事項はきちんと頭に入っているか。本文はすらすら和訳できるか。この作業を手抜きする人が多い。きちんとノートを読み本文テストを×3回まで徹底的にやることで英語は伸びます。これらができた人



▲もっと詳しい学習方法を知りたい人は各教室で「カイチ流学習法」の冊子ももらって読んでみよう!

は学校のワークや、仕上げに塾ワークの「ユニットのまとめ」で何点取れるかを確認してください。ここでも、間違い直しと質問が大切です。

理科

まずは、一問一答です。一問一答は1ページごとに丸付け、間違い直しをし、またそのページの問題を頭から解いて満点になり初めて次のページに進みます。この際、先生が気になるのは一問一答を理解せずに丸暗記する生徒がいることです。このような人は絶対に成績が伸びません。内容が理解できないのなら、該当箇所の塾のテキストや教科書を調べる、もしくは先生に質問して解決すること。この要領で、丁寧に1ページごとに学習し1冊終了したなら、最後に1冊を通してテストをしてみましょう。1冊××が5個以内なら合格です。ここまで学習ができたなら、学校の問題集や過去問題をドンドン解き、暗記した知識を定着させ、繋いでいきます。この作業は一問一答集暗記より楽ですが、効果はスゴイ。解けば解くほど、100点に近づいていきます。一問一答を丁寧に解き、仕上げの問題集・過去問題演習。これで間違いありません。

国語

国語は学校の先生の主観でどこが出题されるかは様々です。そこで効果的なのが、学校の先生のノートを教科書に書き込むことです。すると、書き込みが多い部分が、先生が力を入れて教えた箇所ですのでどこが出题されるか一目瞭然になります。こうして学校のノートの内容を書き込んだ教科書をテストまでに最低5回以上は読みましょう。(できれば声に出して。ノート箇所は先生になったつもりで説明するように)読んだ後は該当箇所の塾の本文プリントを解きます。本文プリントで間違えた箇所は、また教科書に解説を書き込みます。こうやって教科書を自分オリジナルの参考書に育てながら、その教科書を読みこむのがポイントです。もちろん、テスト範囲に書かれている学校の漢字プリントや文法プリント、国語便覧類もしっかり確認しておきます。国語はとにかく学校の先生が出される内容をしっかりとやるのがポイントです。

最後に、各教科あと10点ずつ伸ばす秘訣をお伝えします。それは学校で配布される「テスト範囲表の確認」です。当たり前のことですが、学校のテストは学校の先生が作ります。先生によっては、授業で配布したプリント番号や、資料集のページなどをテスト範囲として書いてあげていることがあります。このような場合は、そこから似た問題が出る可能性が大です。トップクラスの生徒になるほど、テスト範囲表はシビアに確認しています。学習した項目は線を引いて確認しながら演ずるものをお勧めです。

教科	テスト範囲	テスト範囲表	備考
国語	教科書 1-10 漢字 1-10	1-10 漢字 1-10	漢字は必ず読み書き練習を
数学	教科書 1-10 問題集 1-10	1-10 問題集 1-10	問題集は必ず解く
英語	教科書 1-10 単語 1-10	1-10 単語 1-10	単語は必ず覚える
理科	教科書 1-10 実験 1-10	1-10 実験 1-10	実験は必ずやる
社会	教科書 1-10 地図 1-10	1-10 地図 1-10	地図は必ず見る

# Focus



## CLASSROOM REPORT 教室レポート

### エニグマの楽しさと真剣さ

富田 昌史 (エニグマ教室長)

春があつという間に通り過ぎ、暑さと共に皆さんが楽しみな夏がやってきました。エニグマは、上本町にある中高一貫生と大学受験専門の教室が三つだけのごじんまりとした教室です。数年前は30名程度の小さな教室だったのですが、なんと今年は4月から74名に!! 人数が大幅に増えて、教室は活気にあふれかえっている状況です。



▲第3教室まで授業で一杯になる日も。 ▲休み明けテスト対策で、先生に質問中。次の日頑張る。

中学生が29名、高校生が45名所属していますが、特に入学したての中1生が8名、高1生が24名と、新スタートを切った学年の生徒が多く来て来てくれています。

#### エニグマ在籍生

灘中学・高校	西大和学園中学・高校
大阪星光中学・高校	四天王寺中学・高校
明星中学・高校	洛南中学・高校
清風南海中学・高校	東大寺中学・高校
清風中学・高校	開明中学・高校
高槻中学・高校	帝塚山中学・高校
大阪桐蔭中学・高校	帝塚山学院泉丘高校
関西第一中学・高校	智弁奈良カレッジ中学等

京都の学校や、大阪南部の進学校の生徒達も来てくれるようになりました。

そんな中どうしても気になるのは、「エニグマの良さ」が無くなっていないかということ。さすがは熟練の中野先生や、元灘の先生方達。トップレベルの先生方のおかげで、少人数の双方向の良さは続けつつ、生徒同士が刺激し合えるように授業を盛り上げていっています。今回はそんなエニグマの授業の様子を一部お伝えしていきます。

#### 新中1生:入学前準備講座

エニグマでは、入学前の新中1生対象に入学前準備講座などを行いました。中学入試が終わった後なので全力で自分のしたいことをしてもらいつつ、数学であれば新たな負の世界という面白さ、英語であれば語学に慣れ親しむ楽しさを体験してもらおう狙いの授業です。「受験勉強が終わって、みんな疲れているんじゃないかな?」という心配もあったのですが、「楽しかった!」「絶対にエニグマに行く!」と保護者



▲一人一人の進捗を見ながらの授業。

の方に皆伝えてくれたそうで、全員今も通っています。



▲卒業生で新任の渡邊先生がフォローに入ってくれました!

#### 中1生:立体模型で遊ぼう〜数学を楽しむ感覚〜

春期講習の最後の日には、元灘講師の田中先生に「立体図形パズル」を持ってきてもらい、思う存分みんなで遊びました。立体パズルはプラモデルと似たようなもので、正三角形のパーツをくっつけながら多面体を作っていくのですが、これが結構難しい!生徒達も苦戦していたのですが、徐々にお互いに相談しながら立体をくみ上げる事ができました。それぞれ学校も全然違うのですが、この授業を通して仲良くなったようです。たださすがは田中先生。実は意外と規則性に気づくように誘導されていたようで、最終的には「正多面体の面と辺、頂点の関係性」にも気づいた生徒達が多くいました。中高一貫では、中1から中2の幾何で習う、「立体の法則」ですが、私自身は丸覚えだけでテストの次の日には忘れていた記憶しかありません。でも次の週に、「先生、こうなるんや〜」と嬉しそうに法則をおしえてくれた生徒達の中では、恐らくずっと残る学びになったのだと思います。



▲要所で「謎」を与えたり?



▲結構みんな苦戦中?



▲学校は違うけど友達に!

#### 生徒の真剣さ〜中野先生の補講〜

ある最終コマの授業のあと、中野先生が、「ちょっと特訓してみる?」と新高1の生徒に声をかけているのを見ました。どうやら仮定法(ありえない話をする時の英語の使い方)の範囲なのですが、時制(いつの話をしているかを時制と言います)がかなり複雑で、しかも声をかけられた生徒はかなり英語に苦手意識があります。下のような例文が対象でした。

- ・「もし明日雨が降ったら、家にいます」
- ・「もし私が彼に本当の事を言っていたら、彼は怒っただろう」
- ・「彼が若い時に仕事を頑張っていたら、今頃は成功しているだろうに」

これらは、私達でも間違えやすい例文で、しかも5題全部言えるまで続けるそうです。少し遅い時間だったのですが、実は本人の希望とのこと。ならば三人でことんやろうかと、先生2人、生徒1人の不思議な特訓が始まりました。



▲頭をフル回転! 3周目くらいかな?

これがまた、先生も生徒も真剣で、こちらが手に汗にぎる雰囲気です。「1問だけ間違えてもた〜」などと叫びながら30分。ついにその時が来ました。もう良く分からないテンションですが、3人で大喜びです。なぜか生徒からも記念撮影をせがまれる始末。



▲やり切った顔が素晴らしい!!

ただ、「こんなに勉強で気持ち良かった事はありません!」と言って帰った彼の後ろ姿が印象的でした。これまでいるような塾に行ってもここまで満足した瞬間はなかったそうです。そんな一瞬と一緒に味わえたのは私達にとってもかけがえのない経験でした。

今回は補講だったのですが、中野先生の授業は中1から高1の授業でもこのようなライブ感があります。「そりゃ生徒は中野先生の授業は受けたいわな」と思いました。



▲前回紹介した息子です。元気に育っています。



▲双子ではありません。

#### 最後に

エニグマでは、カイチと同様に、それぞれの先生が「どうやって生徒の好奇心を引き出せるんだろう」と考えながら授業をおこなっています。エニグマの目的の一つは、「勉強とは自分でするもの」と生徒自身に気づいてもらうこと、そして目標に進む底力をつけることです。それこそが学校の学びを活かし、難関大を受験する力ともなります。そのためにも、「気づきの楽しさ」と「真剣にやった時の達成感」を味わってほしいながら、生徒も私達も刺激し合っていきたいと思っています。

# Education



## KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

### 遠足に行ってきました!!

岡本 泰行 (高殿教室)

2020年のコロナウイルスの感染拡大から中止されてきたカイチの春の遠足が復活です!! 今年も過去最多のおよそ250名の子供達が参加し、観光バスも5台借りるという。とても大規模なものになりました。

遠足の日当日、観光バスが各教室の子供達を乗せて、琵琶湖博物館へ出発。途中桂川パーキングエリアでトイレ休憩をとったのですがその時に観光バスが6台並ぶとかなりの迫力!



▲迫力がありますね。岸田先生が写真を撮っています(笑)

その後、天気のことをしながら琵琶湖博物館に着いたのですが、やはり天気予報通り雨がぽつぽつと降ってきました。「なんで遠足の日だけ雨が降るのだ〜」とみんなが残念がっていたと思います。

琵琶湖博物館の中では班で各展示室を回ります。わたしは低学年の子達と一緒に回りました。みんながそれぞれ「何コレ!」と叫ぶとみんなが集まって色々しゃべったり顔を近づけたりと興味津々でした。8人のグループで回っていたのですが、途中からグループの子供達それぞれが、誰かが遠くに行ってしまうことになる、「一人で勝手に行ってらんか〜!」と注意をしたり、展示室から展示室へ移るときに「8人全員いるで!」と点呼をとってくれたりと普段の子供達の様子とは違った一面を見せてくれました。

私は非常に自然と子供達の口から出ていました。いつの間にか団結していますね。帰りは渋滞に巻き込まれ少し遅くなりましたが、大きなケガもなく無事遠足を終えることが出来ました。



▲はいチーズ!

マンモスやゾウの展示室はみんな目をキラキラさせながら見ておりました。この琵琶湖博物館は面白いですね。私も数回来ているのですが、毎回いろいろな展示に見入ってしまいます。プライベートでも来たいですね。

お弁当の時間です。琵琶湖のほとりの大きな広場で食べたかったのですが、雨のため屋根のある広場で食べました。お弁当おいしいそう!!



▲おいしいそうなお弁当!



▲キティちゃんがいまね



▲集合写真 はいチーズ

カイチの遠足は私自身、10回以上は行ってありますが、コロナの関係で数年空くといろいろのことを忘れていましたね。今回は準備にも前ははどうしていたか...と記憶をたどりながら入念に準備しておりました。ここ数年で入社された先生方が多いので、遠足を知らない先生達は非常に大変だったと思います。ただ、いろいろな先生が遠足後に言うことは各先生とも笑顔で「行ってよかった」「子供達のいろいろな面が見られた」「子供達との距離が縮まった気がする」「教室として団結出来た気がする」などプラスの印象ばかりです。こういうイベントがどんどんと人を成長させるのだと思います。何事も挑戦してみることで良くも悪くも結果が出て人は成長するのだと思います。人は人から影響を受けることで磨かれると良く言われますが、こういうイベントなども人から影響を受ける良い機会なのだと思います。実際に子供達も遠足前は点呼時にも「はいー!」と小さい声だったのが帰りは「はいー!」と大きな声で返事ができるようになっています。こんな短時間でも成長するんですね。

最後になりましたが、お休みの日にも関わらず、お弁当をお作りいただいたり、お見送りやお迎えにお越しいただいたりと保護者の方々のご協力、誠にありがとうございました。